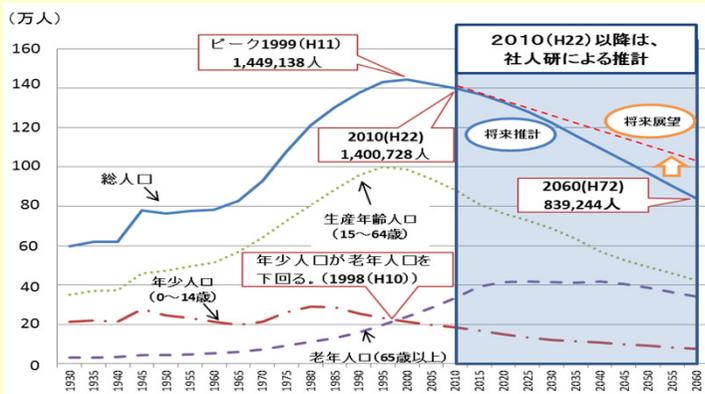


## 人口ビジョン

### 本県の人口

1999(H11)年にピークの144万人に達して以降、人口は減少しています。



### 典型的なベッドタウン

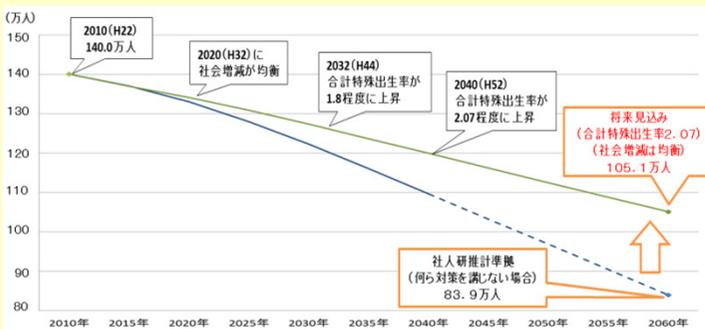
- 県外就業率は29.9%で全国1位
- 昼夜間人口比率の低さは全国で3番目

### 未婚化、晩婚化、晩産化

- 合計特殊出生率は1.27、全国ワースト3位
- 出生数は10,000人を割り込む
- 25歳から34歳男女の未婚率は急激に上昇
- 平均初婚年齢は年々上昇、晩婚化が進行
- 母の平均出産年齢は上昇、晩産化が進行

### 将来展望

「住んでよし」「働いてよし」「訪れてよし」の施策に取り組み、2060(H72)年に人口105万人以上を目指します。



## 総合戦略 (2015年度(平成27年度)から2019年度(平成31年度)の5年間)

### 住んでよし 全ての県民が健やかで安心してらせるまちづくりを進めます。

#### 数値目標

- ・健康寿命日本一を目指す  
男性13位(H25)、女性41位(H25)  
→さらに伸ばす(H31) → 1位(H34)
- ・在宅看取り率日本一を目指す  
21.2%、5位(H25) → 1位(H31)
- ・若者の結婚希望が5年後に実現する率を高める 76.8%(H25) → 80.0%(H31)
- ・「理想の子ども数(2.42人)」に対する「実際の子ども数(2.17人)」の割合を高める 89.7%(H25) → 95.0%(H31)
- ・人口の社会増減を均衡させる  
△2,781人(H25) → 均衡(H32)

#### 主な取組

- 健やかにらせる地域づくり  
奈良県健康ステーションの運営  
おでかけ健康法の普及、促進  
多職種による在宅医療連携体制の構築  
地域包括ケアの構築に取り組む市町村への支援 など
- くらしやすいまちづくり  
連携協定に基づき市町村と協働でまちづくりを推進  
誰もが安心して暮らせるモビリティの確保 など
- 結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援  
「なら子育て応援団」の拡充  
子育て応援の県民運動の展開  
保育士等子育て人材の確保 など

### 働いてよし

脱ベッドタウンを図り、仕事の間を奈良でつくるため、「産業興し」「企業誘致」などに取り組みます。

#### 数値目標

- ・県内で働く人の増加1万人  
県内就業者数 451,000人(H24)  
→ 461,000人(H31)
- ・100件の企業立地とそれに伴う1,000人の雇用の場創出(H27~H30)
- ・農業産出額  
432億円(H25) → 435億円(H31)  
(野菜: 119億円 → 137億円、  
水稲: 110億円 → 88億円など)

#### 主な取組

- 経済が県内で好循環する社会の構築  
海外見本市出展支援や海外販売拠点立ち上げ支援  
自社商品のブランド化、高付加価値化を図る企業者を支援  
関係市町と協議会を設立し、協働で工業ゾーンを創出 など
- 経済が県内で好循環する社会の構築(農林業)  
品質によるブランド認証制度の創設と推進  
ABC材全ての受け皿となる競争力ある木材産業を構築 など
- 奈良でのしごとの場の創生  
高齢者のしごと創出、女性の就労支援、障害者雇用の促進  
キャリア教育の推進・就業意識の醸成 など

### 訪れてよし

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、観光・文化・スポーツの振興などに取り組み、誇り高い奈良を売り出します。

#### 数値目標

- ・延べ宿泊者数  
227万人(H26) → 280万人(H31)
- ・オフシーズン延べ宿泊者数(1、2、6、7、12月)  
73万人(H26) → 105万人(H31)
- ・観光入込客数  
3,811万人(H26) → 4,200万人(H31)
- ・外国人宿泊者数  
15万人(H26) → 33万人(H31)

#### 主な取組

- 奈良で宿泊する周遊型観光の推進  
ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備  
奈良県外国人観光客交流館「奈良県猿沢イン」の運営 など
- 文化やスポーツで地域の魅力を向上  
ムジークフェストならの開催、奈良県国際芸術家村の整備  
奈良県トレーニングセンターの整備 など
- 南部地域・東部地域への交流の促進  
豊かな地域資源を活かしたスポーツイベントの充実 など

基本目標1 住んでよし

基本的方向	施策	主なKPI			具体的な取組(主なもの)
		指標名	現状値	目標値	
1 健やかにくらす地域づくり	(1)健康寿命日本一を達成するための健康的な生活習慣の普及	喫煙率	14.0%(H26)	11.4%(H31)	○喫煙者に対する禁煙支援 ○奈良県健康ステーションの運営・おでかけ健康法の普及、促進 ・奈良県健康ステーションの運営、おでかけ健康セミナーの開催
	(2)特定健診や介護予防などに取り組む人を増やすことによる要介護状態になる人の減少	特定健診受診率	29.5%(H26)	60.0%(H31)	○市町村が実施する特定健診受診率等向上の取組支援 ・未受診者に対する個別受診勧奨及び再勧奨の実施 ・休日や夜間健診等実施体制の充実
	(3)疾病の早期発見や医療体制の充実等による、65歳未満の死亡率(早世)の減少	がん検診の受診率	胃がん34.7% 肺がん31.0% 大腸がん33.9% など(H26)	胃がん50.0% 肺がん50.0% 大腸がん50.0% など(H31)	○がん検診の普及啓発の推進 ・「がん検診を受けよう」なら県民会議の活動促進 ・出張がん予防教室の実施
	(4)高度医療の充実、救急医療・周産期医療提供体制の構築	ハイリスク妊婦県内受入率	94.7%(H26)	100.0%(H31)	○北和地域の高度医療拠点病院として県総合医療センターを整備 ○中南和地域の高度医療拠点病院として県立医科大学附属病院を整備 ○周産期母子医療センターの充実
	(5)医師・看護師の確保	臨床研修医定員充足率	90%(H27)	94%(H31)	○安定的な医師配置システムの運営 ○医師確保修学資金の貸与
	(6)地域の医療機関による連携体制及び医療・介護サービスの需要に対応できる地域医療提供体制の構築	在宅(自宅+老人ホーム)看取り率	全国5位、21.2%(H25)	全国1位(H31)	○多職種による在宅医療連携体制の構築 ○在宅医療に携わる人材育成及び県民等に対する在宅医療の普及啓発 ○様々な在宅医療(歯科・薬剤・訪問看護等)の提供体制の構築
	(7)南和地域の医療提供体制充実	急病時に診てもらえる医療機関があること(県民アンケート調査満足度)	〈南東部地域〉 2.34ポイント(H26) 〈南西部地域〉 2.36ポイント(H26) ※5段階評価	〈南東部地域〉 3.00ポイント(H31) 〈南西部地域〉 3.00ポイント(H31) ※5段階評価	○医療提供体制の充実に向け南奈良総合医療センター・吉野病院・五條病院の整備 ○地域の救急を断らない病院を目指して、救急医療を強化 ○在宅医療やへき地医療の強化など地域に密着した医療サービスの強化
	(8)地域福祉の充実	小さな拠点づくりモデル地区でのサロン参加登録者の割合	0%(H27) ※モデル地区の高齢者207人	地域の高齢者数の30%以上(H31)	○小さな拠点づくりの推進 ・モデル地区における「小さな拠点」(①集い機能、②相談・訪問機能、③生活支援機能)づくりの推進
	(9)障害者支援の充実	障害者雇用率	2.22%(H26)	2.57%(H31)	○奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例の推進 ○一般企業等における雇用の促進 ・「障害者はたらく応援なら」の取組推進
	(10)高齢者支援の充実	居宅で介護サービスを受ける高齢者の割合	81.6%(H26)	84.0%以上(H31)	○地域包括ケアの構築に取り組む市町村等への支援 ・地域包括ケアシステムの構想づくりなどモデル的取組を行う市町村等への支援
2 くらしやすいまちづくり	(1)地域性を活かした、にぎわいのある住み良いまちづくりの推進	まちづくりに関する基本構想策定地区数	0地区(H26)	30地区(H31)	○連携協定に基づき市町村と協働でまちづくりを推進 ・駅や病院等を拠点としたまちづくりを推進 ○誰もが安心して暮らせるモビリティの確保/公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり
	(2)社会資本の効率的・効果的な維持管理の推進	みんなで・守ロードの団体数	98団体(H26)	108団体(H31)	○道路・河川などの公共施設において花のある空間づくりの推進 ・地域との協働により花いっぱい運動、彩り花づつみ、憩いの川づくり活動の推進 ○効率的・効果的な維持管理体制の確立
	(3)「きれいに暮らす奈良県スタイル」構築・推進プロジェクト	奈良県植栽計画の整備着手エリア数	36箇所(H26)	51箇所(H31)	○シンボルマークプレートや情報誌による、植栽計画の積極的な広報等の強化 ○広域幹線沿道における屋外広告物の規制・誘導の推進 ○市街地幹線道路や歴史的景観を保全すべき地区等における無電柱化の推進
3 安全・安心のまちづくり	(1)災害に強い地域づくり・強靱な県土整備の推進	浸水常襲地域における減災対策実施率	50%(H26)	70%(H31)	○治水対策の推進 ・大和川流域総合治水対策の推進 ・浸水常襲地域における減災対策の推進
		京奈和自動車道(奈良県域)の整備率	50%(H26)	65%(H31)	○骨格幹線道路ネットワークの形成 ・京奈和自動車道(大和北道路)、(大和御所道路)等の整備促進 ○安全・安心を支える道路整備の推進 ・「紀伊半島アンカールート」等の災害に強い道路整備の推進
	(2)感染症や食の安全・安心確保、消費者被害防止のための対策の推進	消費者啓発のための出前講座等の開催回数、参加者数	77回3,280名(H26)	90回3,500名(H31)	○保健所及び食品衛生検査所による食品衛生監視指導 ○食品の取去検査(抜き取り検査) ○消費者に対する移動講座・出前講座の実施

基本的方向	施策	主なKPI			具体的な取組(主なもの)
		指標名	現状値	目標値	
	(3) 犯罪抑止及び交通事故防止対策の推進 ※施策、KPI、具体的な取組は、安全安心に関する基本計画の策定(H29.4予定)にあわせて改定予定	刑法犯認知件数 交通事故死亡者数	11,140件(H26) 21人(H26)	10,000件以下(H28) 限りなくゼロ(H28) 具体的な数値目標は、H28年3月に策定予定の奈良県交通安全計画(第10次)において言及予定	○子供、女性、高齢者が安心して暮らせる奈良の実現 ○犯罪検挙のための捜査力の強化 ○大震災等大規模災害時における警察機能の強化
	(4) 分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給 ※第2次エネルギービジョン策定(H28.3予定)に伴い目標値を改定予定	再生可能エネルギーの設備容量	199,921kW(H22比3.5倍)(H26) ※H22:57,481kW	216,752kW(H22比3.8倍)(H27)	○再生可能エネルギーを活用した地域の取組への支援 ○家庭・事業所等の自立分散型エネルギーの導入促進 ○「奈良の節電スタイル」の推進
4 結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援	(1) 結婚・子育てをみんなで支える社会づくり	なら子育て応援団登録店舗数	1,759店舗(H26)	1,800店舗(H31)	○地域における結婚応援及び出会いの場づくりの推進 ○「なら子育て応援団」の拡充及び子育て応援の県民運動の展開
	(2) 結婚の希望の実現と次代の親の育成	いずれは結婚しようとする20歳代の独身者の割合	72.5%(H25)	90%以上(H31)	○若者のライフデザイン形成への支援 ○思春期・青年期の妊娠・出産に関する健康教育
	(3) 子どもの健やかな育ちの実現	子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っていること(県民アンケート調査満足度)	3.07ポイント(H26) ※5段階評価	3.50ポイント(H31) ※5段階評価	○保育士等子育て人材の確保 ○地域子育て支援拠点事業の普及及び充実
5 女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの推進	(1) ワーク・ライフ・バランスの推進	奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業登録企業数	84企業(H26)	110企業(H28)	○ワーク・ライフ・バランスの推進 ・県内事業所の研修等に講師を派遣 ○県内事業所の処遇改善の支援 ○働きやすい職場づくりの推進(働き方改善への取組)
	(2) 女性の就労	第1子出産前後の女性の継続就業率	39.6%(H25)	55%(H31)	○「子育て女性就職相談窓口」の運営 ・専門の相談員による就業相談等 ○女性の起業支援 ・起業家養成セミナーの実施等
6 学びの支援	(1) 家庭・地域・学校が協働して、子どもを自立した社会人に育てていくための取組の推進	教科の内容がよく分かる子どもの割合	小学校国語81.4% <80.1%>、算数79.3% <79.6%>(H26)<全国平均>	全国平均以上(H28)	○総合教育会議、奈良県教育サミットの設置、運営 ○就学前教育の推進
	(2) ライフステージに応じた学びの支援	地域子育て支援拠点事業箇所数	69箇所(H26)	128箇所(H31)	○地域子育て支援拠点事業の普及及び充実 ○利用者支援専門職員養成研修 ○「なら子育て大学」「出張・なら子育て大学」の実施
	(3) 県立大学の改革の推進	県立大学の入学試験受験倍率	約8倍(近年の平均)	約9倍(H31)	○県立大学改革の推進(少数対話型教育(学習コモンズ制)の充実) ○ユーラシア研究センターの運営 ○奈良県大学シニアカレッジの開講
7 南部地域・東部地域への定住の促進	(1) 働く場所づくり	人口の社会増減	南部△1,187人(H26) 東部△434人(H26)	社会増減をプラスにする(H32)	○柿や茶の高品質・付加価値化によるブランド化 ○高級材だけでなく、伐採した木をすべて搬出して利用する林業の推進 ○御所ICや五條北IC付近の産業用地への企業誘致の推進
	(2) 暮らしやすい地域づくり				○「南奈良総合医療センター」の整備 ○市町村のコミュニティバス等への支援 ○空き家を活用した定住促進住宅の整備
	(3) 災害に強いインフラの整備				○紀伊半島大水害の復旧の完了 ○紀伊半島アンカールートの整備 ○土砂災害対策の推進と山地災害の予防と復旧
	(4) 移住の推進				○奥大和移住・定住連携協議会による情報発信 ○移住体験施設の整備 ○後継者を募集する事業所等と地域で働きたい移住希望者とのマッチング

## 奈良県地方創生総合戦略の概要 (基本的方向、施策、KPI、具体的な取組)

## 基本目標2 働いてよし

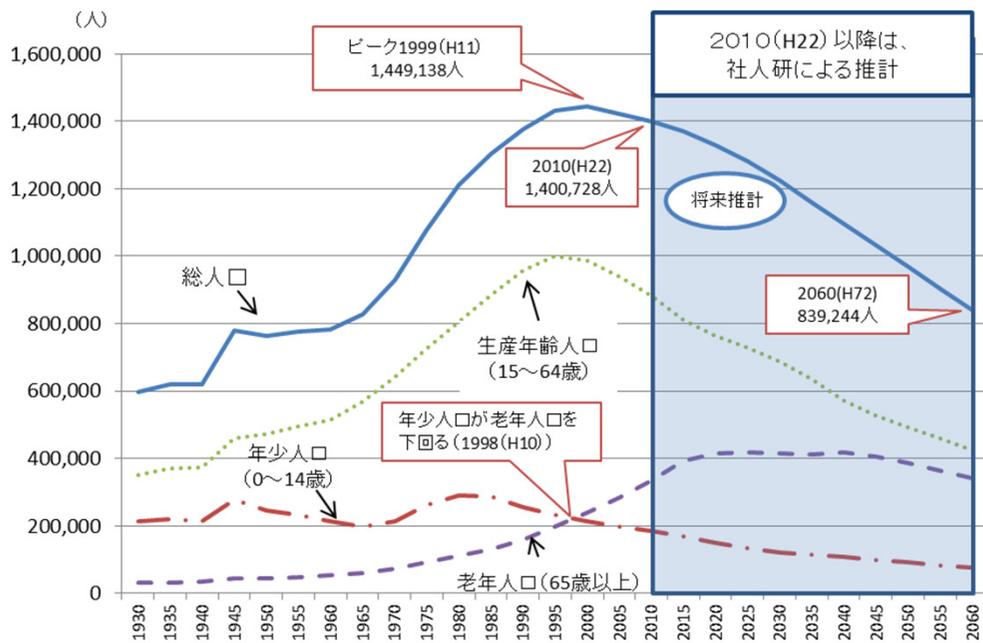
基本的方向	施策	主なKPI			具体的な取組(主なもの)	
		指標名	現状値	目標値		
1-1 経済が県内で好循環する社会の構築	(1)リーディング分野、チャレンジ分野における産業の育成	①生活関連製造業における「産業興し」	生活関連製造品出荷額	4,342億円(H24)	4,469億円(H31)	○海外見本市出展や海外販売拠点立ち上げを支援し、県内企業者の海外展開を促進 ○自社商品のブランド化、高付加価値化を図る企業者を支援
		②小売業における「産業興し」	県民1人当たり年間商品販売額	739,000円(H24)	785,000円(H31)	○県・市町村でのプレミアム商品券の発行(支援)による県内消費の拡大施策 ○商業施設等の集客施設の誘致や県内事業者による設置・運営の促進に向けた取組を実施
		③医療・介護・福祉における「産業興し」	急病時に診てもらえる医療機関があること(県民アンケート調査満足度)	2.80ポイント(H26) ※5段階評価	3.00ポイント(H31) ※5段階評価	○持続的で質の高い医療提供体制の整備 ○質の高い医療サービスを提供できる人材の確保・育成
		④宿泊産業における「産業興し」	延べ宿泊者数	227万人(H26)	280万人(H31)	○外国人観光客の誘客・MICEの推進 ・奈良県外国人観光客交流館「奈良県猿沢イン」の整備・運営
		⑤農業における「産業興し」	チャレンジ品目の生産額 リーディング品目の生産額	18億円(H25) 126億円(H25)	20億円(H31) 134億円(H31)	○品質によるブランド認証制度の創設と推進 ・奈良県農畜水産物ブランド認証推進事業(イチゴ、柿、大和畜産ブランド)
		⑥料理・飲食業における「産業興し」	「専門料理店(日本料理・西洋料理・中華料理)などの事業所数	1,236店舗(H24)	1,292店舗(H31)	○「なら食と農の魅力創造国際大学校」(NAFIC)の開校 ○東京における県産食材レストランの開設
		⑦漢方における「産業興し」	大和トウキの生産量	1,400kg(H22)	12,400kg(H31)	○薬用作物について、優良品種の育成、省力、安定生産技術の開発 ○薬用作物の生産振興に係る市町村等の取組に対する支援
		⑧林業・木材産業における「産業興し」	県産材生産量	14.8万㎡(H25)	23万㎡(H31)	○儲かる施策予定森林を掘り起こし、森林所有者と素材生産者とをマッチング ・プロジェクトチームによる集約化施策提案に基づく素材生産量の拡大
		⑨教育・文化における「産業興し」	文化関連支出(世帯当たりの支出金額)	全国14位(H24~H26 平均23,658円)	全国10位内(H31)	○ムジークフェストならの開催 ○奈良県大芸術祭の開催
	(2)企業誘致の推進	企業立地件数	—	100件(H27~30)	○産業用地の確保に向けた新たなプロジェクトの推進 ○本社機能移転をはじめ、研究拠点、商業・宿泊施設など総合的な誘致を推進 ○企業立地促進補助金など優遇制度の充実	
1-2 経済が県内で好循環する社会の構築(農林業)	(1)奈良の美味しい「食」の創造と発信	首都圏での大和野菜等を取り扱う仲卸業者数	12業者(H26)	19業者(H31)	○首都圏での食と観光PRフェアの開催 ○東京での県産食材レストランの運営	
	(2)マーケティング・コスト戦略に基づく県産農産物の振興	チャレンジ品目の生産額 リーディング品目の生産額	18億円(H25) 126億円(H25)	20億円(H31) 134億円(H31)	○品質によるブランド認証制度の創設と推進 ○水稲に代わる収益性の高い作物の導入・推進	
	(3)意欲ある担い手の育成・確保と農地マネジメントの推進	新規就農者数(雇用就農を除く)	32名/年(H26)	60名/年(H31)	○新規就農者等への支援 ・実践研修及び就業後のフォローアップ ・なら食と農の魅力創造国際大学校の開校と担い手の養成	
	(4)地域資源を活用した農村地域の活性化	地域づくり協議会への参加集落数	17集落(H26)	25集落(H31)	○地域資源を活用したにぎわいの創出 ・地域資源を活用した地域づくり ・「なら食と農の魅力創造国際大学校」(NAFIC)を核とした賑わいづくり ・地域の特色ある「食」と「農」を活かした宿泊施設等の整備とその施設のネットワーク化(ぐるっとオーベルジュ)の推進	
	(5)A・B・C材全てを搬出して多用途に供給する林業への転換	県産材生産量	14.8万㎡(H25)	23万㎡(H31)	○儲かる施策予定森林を掘り起こし、森林所有者と素材生産者とをマッチング ・プロジェクトチームによる集約化施策提案に基づく素材生産の拡大 ○奈良型作業道や架線集材施設等による木材生産の拡大	
	(6)A・B・C材毎の受け皿の確保及び県産材製品の安定流通の実現	A材の生産量 B材の生産量 C材の生産量	129千㎡(H25) 8千㎡(H25) 11千㎡(H25)	148千㎡(H32) 44千㎡(H32) 58千㎡(H32)	○A・B・C材全ての受け皿として競争力ある木材産業の構築 ○県産材のブランド力向上 ○川上・川中・川下の連携	
	(7)森林環境の適切な保全と森林を活用した地域づくり	施策放置林整備面積	3,539ha(H23~H26 累計)	3,500ha(H28~H32 累計)	○森林環境管理制度の導入 ○「環境保全林」の整備・保全推進 ○森林の活用推進	
2 奈良でのしごと場の創生	(1)企業誘致の推進(企業立地促進による雇用の場の確保)	企業立地に伴う雇用者数	—	1,000人(H27~30)	○立地企業の人材確保支援 ○関係市町と協議会を設立し、協働で工業ゾーンを創出 ○新たな雇用やにぎわいの創出に向けた空き家・空き店舗の活用	
	(2)求人・求職のマッチングの充実としごとの創出	無料職業紹介登録者、ジョブカフェ登録者の就職率 職業訓練修了者の就職率	49%(H26) 90%(H26)	63%(H31) 92%(H31)	○雇用の掘り起こしとマッチング支援 ○高齢者のしごと創出(就労支援・起業支援)、女性の就労支援(再就職支援・就業継続支援・起業支援)、障害者雇用の促進、出所者等の更生に向けた就労促進	
	(3)これからの奈良を支える若者への就労支援と就業意識の醸成	県内企業の大学卒業後就職3年目までの離職率	39.3%(H23.3卒) ※近畿平均:34.9%	近畿平均を目指す(H26.3卒)	○新卒者の県内就職促進とスキルアップの強化 ○キャリア教育の推進・就業意識の醸成 ○地方創生奨学金制度の創設	
	(4)働きやすい職場づくりを進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進	奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業登録企業数	84企業(H26)	110企業(H28)	○県内事業所の処遇改善の支援 ○働きやすい職場づくりの推進(働き方改善への取組)	

# 奈良県地方創生総合戦略の概要（基本的方向、施策、KPI、具体的な取組）

## 基本目標3 訪れてよし

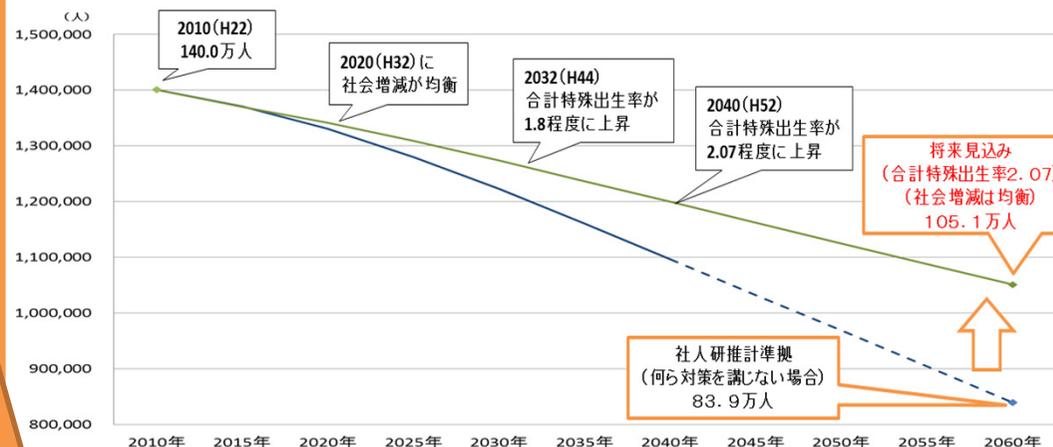
基本的方向	施策	主なKPI			具体的な取組(主なもの)
		指標名	現状値	目標値	
1 奈良で宿泊する周遊型観光の推進	(1)意欲ある観光関連事業者とともに、観光産業の活性化やおもてなし環境の充実を図り、奈良で宿泊する周遊型観光を推進	延べ宿泊者数	227万人(H26)	280万人(H31)	○宿泊産業の育成・支援、観光情報発信 ・宿泊者限定プレミアムクーポンキャンペーンの実施 ○ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備 ○記紀・万葉プロジェクトの推進
	(2)旅行商品づくりやイベントの充実により、宿泊オフシーズンを解消	オフシーズン延べ宿泊者数	73万人(H26)	105万人(H31)	○冬期重点観光誘客キャンペーン ○オフシーズンにおけるイベントの実施 ・奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」を開催
	(3)ターゲットを明確にし、奈良の魅力を効果的に発信し、国内からの観光客及びコンベンションの誘致を推進	観光入込客数	3,811万人(H26)	4,200万人(H31)	○首都圏等からの誘客の促進 ・首都圏での交通メディアを活用した奈良の魅力を情報発信 ・世界最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」への出展
	(4)観光振興に寄与する基盤整備と地域資源を活用したにぎわいづくり	観光入込客数	3,811万人(H26)	4,200万人(H31)	○観光振興に資する道路整備の推進 ○奈良の魅力を一層高める交通環境の充実 ○大宮通りを軸とした観光拠点施設の整備
	(5)海外に向けたプロモーション及び情報発信を推進するとともに、外国人観光客の受け入れ・おもてなし環境を充実	奈良に宿泊する外国人数	15万人(H26)	33万人(H31)	○奈良県外国人観光客交流館「奈良県猿沢イン」の整備・運営 ○外国人観光客向けの受け入れ・おもてなし環境の整備 ・外国人観光客おもてなしイベントの開催 ・多言語案内表示の推進
2 文化やスポーツで地域の魅力を向上	(1)質の高い文化芸術を活用した、奈良の文化力の向上	ミュージックフェストならの周知度(県民アンケート調査)	21.9%(H26)	50%以上(H31)	○ミュージックフェストならの開催 ○県立ジュニアオーケストラの活動 ○奈良・町家の芸術はならあとの開催
	(2)文化芸術への参加、鑑賞の機会拡大による活動の裾野の拡大	奈良県大芸術祭の来場者数	97万人(H26)	115万人(H31)	○奈良県大芸術祭の開催 ○奈良県美術展覧会の開催 ○新たな文化活動チャレンジ補助金
	(3)文化資源を活用した地域活性化	美術館・博物館・社寺等文化施設入場料(世帯当たりの支出金額) 県立文化施設の来訪者数	全国3位(H24～H26 平均3,027円) 1,318千人(H25)	全国1位(H31) 1,355千人(H31)	○文化資源のデータベース構築 ○文化資源の情報発信の強化 ○奈良県国際芸術家村の整備(「文化芸術立国」に向けた先駆的な施設整備) ○NHK大河ドラマの誘致
	(4)だれもが、いつでも運動・スポーツを楽しめる環境づくり	1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施している人の割合	43.6%(H26)	50%以上(H31)	○ライフステージに応じた運動・スポーツの取組の拡充 ・幼児向け運動教室、シニア向けスポーツイベント ○身近な公共施設等の活用
	(5)地域で楽しむスポーツ、あこがれ・感動を生むスポーツの推進	スポーツイベント(総合型地域スポーツクラブ交流大会)の参加者数 プロスポーツ等の試合数(有料観戦)	3,038人(H26) 32試合(H26)	5,000人(H31) 50試合(H31)	○参加型スポーツイベントの充実 ・「奈良マラソン」やリレーマラソン等の参加型スポーツイベントの継続開催 ○ラグビーワールドカップ・東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致活動 ○トップアスリートの育成 ・奈良県トレーニングセンターの整備
	(6)都市公園の管理・活用・整備の推進	馬見丘陵公園来園者数	936千人(H26)	1,000千人(H31)	○都市公園の利活用・適切な管理の推進 ・馬見丘陵公園において、花をテーマにしたイベントを実施(奈良の彩りづくり事業、やまとは花ごよみ開催事業)
3 南部地域・東部地域への交流の促進	(1)観光資源となる地域資源の発見と創出	南部地域・東部地域の観光入込客数	南部:445万人(H25) 東部:221万人(H25)	南部:550万人(H32) 東部:280万人(H32)	○農家民宿等、特色のある宿泊施設の整備を支援 ○地域の魅力を活用した旅行商品等の開発 ○アウトドアスポーツを楽しむことのできる施設の整備促進
	(2)南部地域・東部地域を多くの人に知ってもらうための情報発信	宿泊客数	南部:50万人(H25) 東部:13万人(H25)	南部:55万人(H32) 東部:15万人(H32)	○奥大和プロモーションの実施 ○道の駅等における観光情報の提供と市町村等と連携したイベントの実施 ○首都圏等での観光情報発信の強化
	(3)実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり				○地域の地形や自然を活かしたスポーツイベントの開催 ○地域資源を活用した各種イベントの開催 ○駅等から観光地までの直行バスの運行や路線バス利用者に対する補助

【人口の推移】 年齢3区分別人口



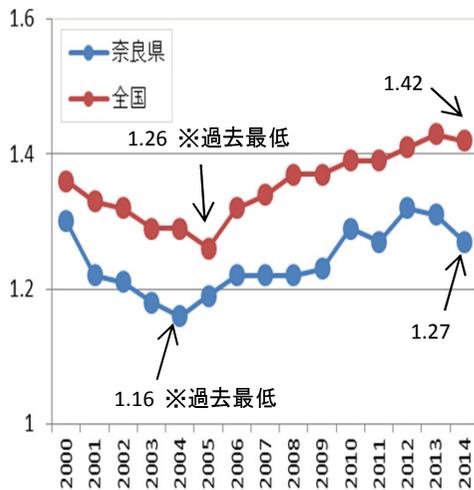
【人口の将来展望】 2060年に人口105万人以上を目指します

自然増減と社会増減の両面からの取組を進め、本県の合計特殊出生率(H26 1.27)が、国民の希望出生率(1.8)や人口置換水準(2.07)にまで上昇し、さらに社会増減が均衡すると、2060年時点で約105万人以上の人口が見込まれ、また、年齢構成バランスの改善にもつながります。「住んでよし」「働いてよし」「訪れてよし」の奈良県づくりに積極的に取り組み、本県の2060年時点における人口を105万人以上とすることを目指します。

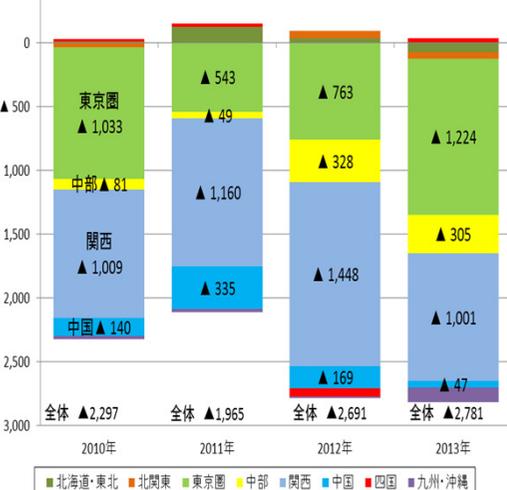


自然動態(合計特殊出生率) 社会動態(地域ブロック別純移動数)

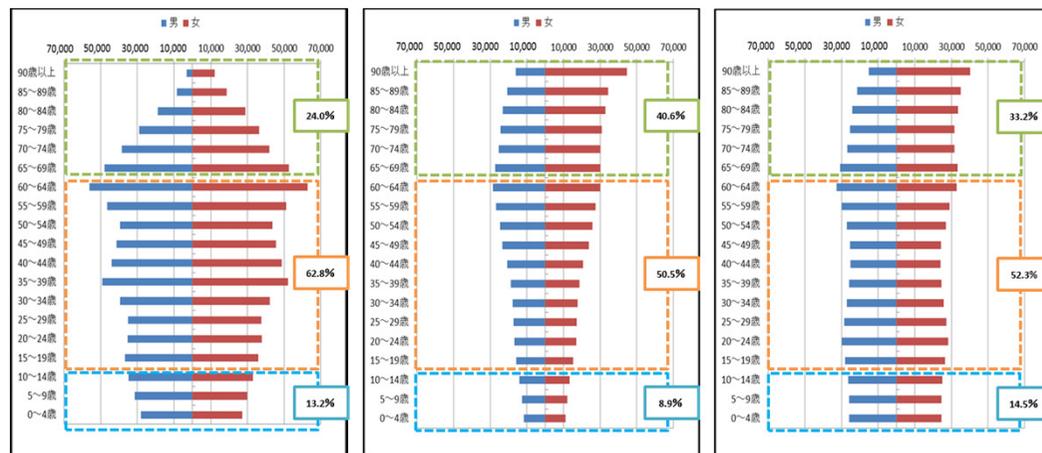
合計特殊出生率:2014年(H26)全国ワースト3位



関西、東京圏への転出超過が大きい



年齢構成バランスも改善します



項目	2010年(H22)比	2060年(H72)比
老年人口比率	+	+16.6ポイント
生産年齢人口比率	+	+12.3ポイント
年少人口比率	+	+4.3ポイント

項目	2010年(H22)比	2060年(H72)比
老年人口比率	+	+9.2ポイント
生産年齢人口比率	+	+10.5ポイント
年少人口比率	+	+1.3ポイント